

対象グループ:

制御システムの設計者・製造者、電気・機械・安全エンジニア、試験・認証機関、機械関連リスクに携わる労働安全衛生の専門家

参加費:

29,000 円

参加人数に制限があり、登録日順受付となります。また、セミナー参加登録後、追って請求書を送付させていただきます。参加費には 2 日間のセミナー聴講と 2 日目 (21 日) の昼食代が含まれます。

使用言語: 英語、日本語 (同時通訳)

登録先:

ピルツジャパン株式会社
〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-17-5
いちご新横浜ビル 4階
Tel: 045-471-2281
Fax: 045-471-2283
ISSA-seminar@pilz.co.jp

セミナー会場:

コクヨホール、多目的ホール
〒108-8710 東京都港区港南 1-8-35
TEL: 03-3450-3712

後援:



www.schmersal.com

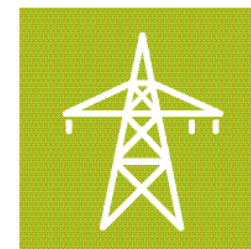
ISSA(国際社会保障協会)は、1927年に設立され、ジュネーブに本部があり、今日では、世界中に333の会員機関があり、153ヶ国で活動しています。

予防特別委員会 は、労働関連リスクを扱っているISSAの機関で13の国際部門があります。

機械・システム安全部門 は、1975年に設立され、機械・システム安全に携わることを目的としています。

電気・ガス・水部門は電気および電離放射線による職業病から労働者を守ることを目的としています。

www.issa.int



セミナー

機能安全と 妥当性確認

2015年5月20日・21日
東京

まえがき:

安全関連アプリケーションにおける制御システム製造者は、規格 IEC 62061「機械類の安全性-安全関連電気・電子・プログラマブル電子制御系の機能安全」、ISO 13849-1「機械類の安全性-制御システムの安全関連部-第1部：設計のための一般原則」、ISO 13849-2「機械類の安全性-制御システムの安全関連部-第2部：妥当性確認」(FDIS：最終国際標準案 2012)の発行により、2つの基本的な技術規則を有します。セミナーでは、両規格の基礎知識を実践例に基づき、参加者に説明します。講演者は、機械安全・標準化の専門家として情報を提供します。

司会者:

- Klaus-Dieter Becker, BGETEM(ドイツ職業保険組合エネルギー・テキスタイル・エレクトロニクス・メディア部門), Wiesbaden (ドイツ)
- 未定 (日本)

講演者:

- Klaus-Dieter Becker, BGETEM, Wiesbaden (ドイツ)
- Patrick Gehlen, Siemens AG, Erlangen (ドイツ)
- Otto Görnemann, Sick AG, Waldkirch (ドイツ)
- Derek Jones, Rockwell (イギリス)
- Jens Jühling, BGETEM, Cologne (ドイツ)
- Takashi Kabe, SafetyLabo, Toyko (日本)
- Michael Mandel, Schmersal GmbH, Wuppertal (ドイツ)
- Fabio Pera, INAIL, Rom (イタリア)
- Olaf Petermann, ISSA-Special Commission on Prevention, Cologne (ドイツ)
- Thomas Pilz, Pilz GmbH & Co. KG, Ostfildern (ドイツ)
- Gerhard Steiger, VDMA, Frankfurt (ドイツ)

2015年5月20日(水曜日)

12:30	挨拶: 司会者 川久保 雄司 (ピルツジャパン) Klaus-Dieter Becker ISSA の課題・目標	Olaf Petermann
13:00	リスクアセスメント - 製造者義務- ISO 12100 準拠	Gerhard Steiger
14:00	機械の電氣的検知保護装置 IEC 204-1 準拠	Jens Jühling
14:30	IEC 62061 の紹介と実践上の推奨	Derek Jones
15:15	休憩	
15:30	ISO 13849-1 「機械類の安全性-制御システムの安全関連部-第1部：設計のための一般原則」の紹介	Klaus-Dieter Becker
16:15	討論 / 休憩	
16:30	引き続き、ISO 13849-1 の紹介	Klaus-Dieter Becker
17:30	最終討論	
18:00	初日終了	

2015年5月21日(木曜日)

09:00	ISO 13849-2 に従った制御システムの妥当性への概説	Klaus-Dieter Becker
10:00	ISO 13849-1 のアプリケーション: 実践例	Takashi Kabe
10:30	ISO 13849-1 のアプリケーション: 実践例	Otto Görnemann
11:15	休憩	
11:30	ISO 13849-1 とインターロック装置	Michael Mandel
12:00	ISO 13849-1 のアプリケーション: 実践例	Patrick Gehlen
12:30	討論	
12:45	休憩 (昼食)	
13:45	SISTEMA: 紹介と実践例	Fabio Pera
14:30	ISO 13849-1/-2 を用いたロボットセルの設計	Thomas Pilz
15:00	最終討論、終了	